

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名							
総合演習1							
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名		実務経験		
鍼灸学科・夜間部	1年	9・3月集中	天野 陽介		○		
分野区分	教育課程		講義形式	単位	コマ数		
専門分野	総合領域		座学	1	10		
科目概要							
1年生で学ぶことは、2年生で学ぶ臨床的な科目を理解するための基礎となります。解剖学・生理学・経絡経穴概論・東洋医学概論の知識は鍼灸師としての基礎知識と言えます。これらの科目に対する知識の確認を行い、定着に向けて学んでいきましょう。							
目標							
一般目標(GIO) <small>本講義を学習することで達成されるべき目標</small>	2年次の「疾病の成り立ち」「臨床はりきゅう学」領域を学ぶ基礎を作るために、専門基礎・専門分野を中心とした複合課題に対する学習を行い、知識の定着と応用力を身に付ける。はりきゅうの歴史の概略を学び、鍼灸の伝統への理解と自負を育む。						
	到達目標(SBO) <small>一般目標を達成するために必要な具体的な内容、客観的な指標(合格基準)</small>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 経絡の概要、代表的経穴の取穴部位について、多肢選択問題に答えられる。 2. 陰陽学説、五行学説、臓腑の生理と病理について、多肢選択問題に答えられる。 3. 代表的な骨の形状や特徴、筋の起始・作用・支配神経について、多肢選択問題に答えられる。 4. 重要な臓器や神経の構造や働きについて、多肢選択問題に答えられる。 					
履修に必要な予備知識や技能							
学習した内容を総合的に振り返り、知識の定着を図ります。そのため、本授業を受講するまでに学んできたことが予備知識となります。							
教科書・参考書							
教科書:『新版 経絡経穴概論』『新版 東洋医学概論』、東洋療法学校協会[編]、医道の日本社。 『解剖学』『生理学』『解剖生理』、東洋療法学校協会[編]、医歯薬出版社。							
受講上の注意							
学習した内容は随時復習を行ってください。							
成績評価方法							
評価方法	定期試験	小テスト (チェックテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合(%)		100					100
そのつど提供される課題を積み重ね本授業の成績評価とします。課題は絶対に遂行してください。							
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物		
第1回	陰陽五行と経脈と経穴と要穴				教科書・配付資料		
第2回	臓腑と経脈と経穴(1)				同上		
第3回	解剖生理と東概経穴の確認(1)				同上		
第4回	解剖生理と東概経穴の確認(2)				同上		
第5回	経絡経穴概論・東洋医学概論の振り返り(1)				同上		
第6回	経絡経穴概論・東洋医学概論の振り返り(2)				同上		
第7回	臓腑と経脈と経穴(2)				同上		
第8回	臓腑と経脈と経穴(3)				同上		
第9回	経絡経穴概論・東洋医学概論の振り返り(3)				同上		
第10回	はきの歴史				同上		
実務経験と本講義との関連について							
北里大学東洋医学総合研究所に上級研究員として勤務、現在、客員研究員。東洋医学関連学会(日本東洋医学会、全日本鍼灸学会、日本伝統鍼灸学会など)の委員として活動。これら東洋医学研究の実務経験をもとに東洋医学概論を講義します。							
メールアドレス							
amano@nihonisen.ac.jp							